

災害対策、公民館施設整備などで一般質問



6月17日、私は一般質問を行いました。テーマは、災害対策と総括、介護施設における「面会の代替措置」、公民館施設整備計画の3つです。いずれも、これまでも取り上げてきた問題で、今回の質問で議論を深め、少しでも前進させたいと思っていました。

このうち、災害対策については、長期間の停電や生活道路の除雪不能を経験したなかで新たな体制と総合的な雪対策の確立を求めました。以下はその概要。

【橋爪】昨冬の大雪対策の総括について、現在までの到達点、終了時期の見込み、結果の公表時期を聞きたい。

【市長】検証チームを結成し、全庁挙げて作業を進めている。7月上旬を目途に中間報告として冊子にまとめ、その後、関係機関と共に更なる検討を重ねた上で、10月下旬に最終の報告書としてお示ししたい。

【橋爪】総括はどのような基本的な視点で作業を進めているか。

【理事】あくまでも今後の大雪に備え、市民生活が通常どおり営まれるようにという視点だ。今回は市民や事業所に対する備えとして、一定程度の提言をまとめていく。

【橋爪】長時間停電や住宅地内の生活道路が何日も除雪できないなど、昨冬のような大雪は今後も起こり得るという捉え方が大切だ。県では豪雪地帯対策特別措置法に基づき、総合的な雪対策の計画を立てている。市には、計画樹立の法的義務はないが、ちゃんと、まともな生活が

できる対策を総合的に立てるべきではないか。

【理事】計画を策定するチームではない。検証により、大雪で市民生活に支障が出ないようにしていきたい。

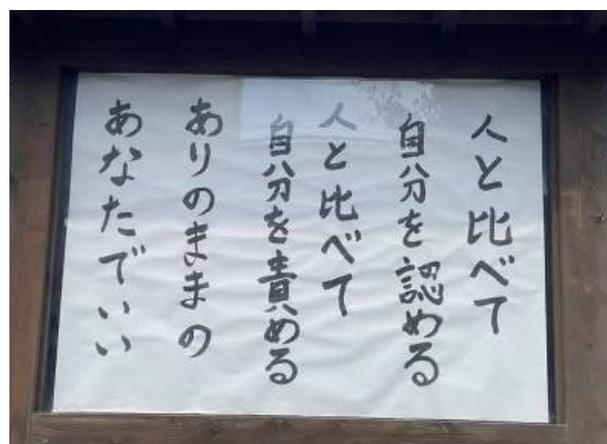
【橋爪】新型コロナが収束しない中、依然として多くの施設では、依然として面会についてきびしい制限が続いている。家族と会えない、親戚と会えない、友人とも会えない。こういう非人間的な状況から抜け出すために「面会の代替措置」はどこまで進んだか。また、どう発展させる考えか。

【市長】市内の特別養護老人ホームの現在の状況は、24の施設のうち、オンライン面会とガラス越し面会を併用して実施している施設が14施設、「オンライン面

会のみ実施」が7施設、「ガラス越し面会のみ実施」が2施設、残る1施設でもオンライン面会の準備を進めている。

【橋爪】平成23年策定の公民館施設整備計画は途中でなくなったとのことだが、その理由と時期を聞きたい。

【教育長】計画は、平成24年度から32年度までが計画期間。計画は、公民館の将来に向けた再配置、適正配置の検討が途上にある中で、改修実施の当否が定まらない施設をも含めたものとなっていたために、実際に実施する事業は整備計画の優先順どおりとはならず、公開を続けることによる混乱を避ける趣旨で、平成27年4月に、ホームページ上の公開を中止した。



直江津は三八市通りにある真宗大谷派寺院、聴信寺の掲示板です。他人と比べて自分を評価するケースが多いですが、「ありのままの」自分でいいと思えば、気が楽になりますね。



ぶなの森園 清掃ハイク
6月26日、大島区田麦のぶなの森園にて清掃ハイキングがあり、参加してきました。主催は里山イノベーション研究会。地元の田麦、竹平からケンイチさん、ハルオさん、マモルさんなどが、他は大湯区や浦川原区などから30人近くが参加しました。
写真は同園のパノラマ展望台。地元の人々の指示で私から尾神岳、米山、兜巾山などの説明をさせてもらいました。清掃ハイクでは、トリアシシヨウマなどの野の花とも出会い、楽しいひと時を過ごしました。



【サルナシ】マタタビ科のつる植物。漢字で「猿梨」と書きます。この実を「コクワ」と呼ぶ地域があります。ツルは赤茶色、葉には細かい鋸歯があります。花は5月から7月、白い花を咲かせます。実はキウイフルーツの味とそっくり、サルやクマが好みます。花言葉は「誘惑」。写真は6月27日、大島区田麦地内で撮りました。

はしづめ法一の活動レポート

No.2018 2021.7.4
発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg_0808@yahoo.co.jp
URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見である記」はこちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第六六五回

晴れ舞台

六月二〇日の「月影歌謡祭」の前日や当日の動きを見て、改めて思いました。歌や踊りが好きな人たちは、数分の自分の出番のために最高の準備をするということ。

前日の午後三時半頃、歌謡祭の会場となる月影の郷体育館に行くと、音響機器の設置や飾り付けなどはすでに終わっていました。そして、参加予定者はそれぞれ舞台上がって音合わせを行い、舞台の雰囲気、会場での音の響きなどをチェックして、本番に備えていました。

歌謡祭当日の午前もリハーサルです。歌や踊りで参加するみなさんは、再度、入念なチェックをして本番への最終調整をしていました。

本番は一二時半から。主催者や来賓の挨拶に続いて、六〇組の人たちが歌や踊りを披露しました。このうち、圧倒的多数が歌、日本舞踊とレクダンスはほんの数組でした。発表時間は全体で四時間、歌は二番までという決まりになっていました。

プログラムに沿って歌謡祭を進めたのはMさん。ひとりで四時間、司会を続けました。「はい、続きましてAさんの「津軽の花」です。Aさん、どうぞ」。最後の「どうぞ」は語尾が上がる言いまわしです。しっかりと声で出場者名と歌だけを伝える簡潔な紹介と「何なにさん、どうぞ」は印象に残りました。

天地真理の「ひとりじゃないの」を歌ったのはYさん。腰を振って、左手で拍子をとって、「ふたりで行くって すてきなことね いつまでも どこまでも」とやっています。会場では舞台に向かって左右から照明があてられていたのですが、Yさんの腰などの動きは影も同じ動きになります。この影もまた楽しそうでした。

男性の出演者の中で、男惚れしたのは、大島区田麦出身のTさんと元観光バスの運転手のHさん。北島三郎の「祭り」を歌っ

たTさんは和服姿がとても似合いました。Hさんは背が高く、スーツの左右のアクセサリーが素敵でした。「風を追い 風に追われて幾とせか……」男っぼさの漂う歌は聴衆を魅了しました。

オレンジの和服で登場したFさんも着物と唄で聴衆を惹きつけました。少し前まで「あるるん畑」で寿司を握っていた人ですが、福田こうへいの「南部蝉しぐれ」を体育館全体に響く豊かな声量で歌いあげました。私のそばに座っていた安塚、浦川原レクダンスの女性陣も、「すごい声だわ」「ギャッホー」という声を出していました。歌の途中で拍手も起きました。

歌を歌い、踊って、じつに楽しそうだったのは、Kさんとーさんによる氷川きよしの「大丈夫」。団扇を持って腕をぐるぐる回し、「ひとりぼっちは味気ない お手を拝借、それバンバンバンバンバンバン、も一度、バンバンバン」とやる姿は楽しさ一等賞でした。

この日、歌と日本舞踊がこんなにも合うものかと思ったのは、仁野分のS子さんが歌い、顕聖寺のY子さんが踊った「金沢の雨」です。緑のブラウスと白のスカートを着たS子さんが、「あなたと出会った 片町あたり 相合傘です 金沢の雨」と歌うと、白と薄紫の和服姿のY子さんが薄紫色の傘を広げ、S子さんに寄り添いました。歌と踊りだけでなく、二人の衣装と着物の色もぴたり合っていました。

当日になってわかったことですが、歌謡祭に参加したみなさんのほとんどは歌や踊りのサークルに入っておられ、日頃から努力されている人たちでした。そして、この日のために舞台専用の素敵な衣装を身につけ、化粧もし、最高の歌や踊りを披露しようと集中しておられたのです。紙面の都合ですべての組を紹介できなくて残念ですが、みなさん、最高の晴れ舞台でした。

上教大付属小3年生が三八市、ライオン像のある館で校外学習

ニュースフラッシュ

上越教育大学付属小学校の3年生が28日、電車で直江津まで行き、三八市、ライオン像のある館で校外学習をしました。

ライオン像のある館では、元付属中学校の先生、川合徹人さんの「寄り道ライブ」にも参加し、川合さんがよく歌うさだまさしの「奇跡」「BirthDay」（鶴瓶の家族に乾杯主題歌）を聴きました。また自分たちもキーボードを演奏し、歌を歌い、踊りました。子どもたちの豊

かな表現力にはびっくりしました。

川合さんは先日、文化会館で行われたNHKの「のど自慢」に出た人です。子どもたちは、「このおじさん、どこかで見たことがある」と言い、持参していたアイパッドを取り出し、川合さんの歌を動画撮影していました。

川合さんは子どもたちに大人気でした。川合さんの名刺をもらう時には競争になりました。「サインして」という子どももいました。

上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	6月23日(水)	6月30日(水)
上越南消防署	0.050	0.040
上越北消防署	0.040	0.043
新井消防署	0.050	0.050
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.060	0.060
東頸消防署	0.053	0.053
名立分遣所	0.057	0.050
高士分遣所	0.053	0.053

